

主催：公益財団法人大倉精神文化研究所 共催：横浜市大倉山記念館指定管理者

大倉山講演会

波濤を越えた近代日本人たち

令和8年6月20日(土)

要事前申込
(詳細裏面)

衛生立国を目指す —北里柴三郎博士の伝染病対策—

明治政府による富国強兵・殖産興業の重点政策がもたらす急激な社会変容に対応しきれない人びとが出てきます。その結果、地域格差や教育格差などが貧困や居住環境の在り様に歪をきたし、労働環境や雇用状況にも悪影響を及ぼし、低所得層での生活の劣悪化が問題視されていきます。これこそが伝染病発生の大きな要因となったのです。コレラ・赤痢・腸チフス・ジフテリア、そして結核などの爆発的な流行を助長していきました。

この様な国内情勢において衛生立国を目指した一人が、ドイツで6年間細菌学を学んだ北里柴三郎博士です。「不撓不屈の精神」を以て新規薬剤開発や予防治療法の確立に全精力を傾けた医学者です。本講演では、「衛生」という言葉さえ耳にしたことない人びとに向けて公衆衛生の普及に努めた北里博士の生涯を紹介します。

◇時間：午後2時～3時30分 (開場は午後1時45分)

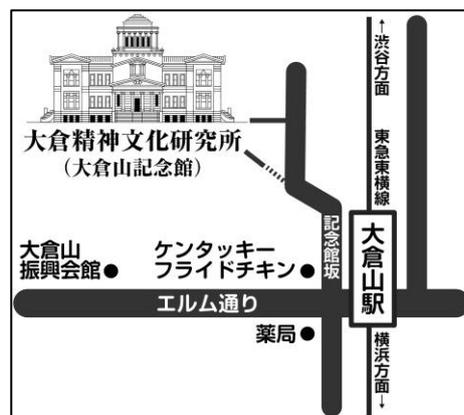
◇会場：横浜市大倉山記念館 ホール

横浜市港北区大倉山二丁目10-1 大倉山公園内
(東急東横線大倉山駅下車徒歩7分)

◇講師：森 孝之 (一般社団法人北里柴三郎記念会)

◇定員：80名 (入場無料、要申込・先着順)

◇申込方法：詳細は裏面をご覧ください



次回予告 7月5日(土) 公開講演会 演題未定 講師：未定(愛知大学教授)